



新風会
ほんだ じゅんや
本田 順也 議員

地方交付税計算方法の見直しを強く国に求めることはできないか

Q 合併して16年になるが、南島原市と雲仙市の両市とは地方交付税の額に差があり、市民や職員の安全を確保する財源がない状態である。半島3市の市税の税率はどうなっているのか。

A 個人市県民税、固定資産税、軽自動車税の税率は、地方税法に規定された標準税率を採用し、3市の税率は同じ。国保税は、県が示す夫婦子供1人の3人世帯、課税所得金額150万円のモデル世帯を基に令和3年度の税率で計算すると、本市が40万5800円、雲仙市が36万2900円、南島原市が39万7300円。

Q 3市を比較した場合、地方交付税の分配についてはどのような違いがあるのか。

A 令和2年度の交付額で比較すると、本市よりも雲仙市が約53億7000万円、南島原市が約65億2000万円多い。主な要因としては、基準財政収入額は雲仙市が約3億4000万円、南島原市が約5億1000万円少なく、基準財政需要額が市の面積や市道の延長・面積、支所数などが大きく影響し、雲仙市が約48億6000万円、南島原市が約58億円多くなっている。

Q 財源確保のための要望活動は今までどうされていたのか。

A 地方交付税の確保や各種施策に対する財源措置など、国、県の予算編成や施策で措置が講じられるよう九州市長会や県市長会を通じた要望や、本市の要望として毎年県に対して要望している。

そのほか、地元国会議員にも相談しながら国へも要望しており、新庁舎整備に対する有利な財源として一般単独災害復旧事業債の適用や、新年度当初予算にも計上している浄化槽設置整備事業に係る既存家屋の改築に伴う宅内配管工事に対する補助制度の創設など、随時、要望活動を実施して財源確保に努めている。

【その他の質問項目】

◇大三東漁港東側の埋め立て地

◇市長が掲げる政策の一つである出生率のその後

◇産業の活性化



会
かねはら しげのり
種村 繁徳 議員

都市計画道路問題

Q 道路整備は歩行者安全確保等のために必要で早急な整備が求められるが、①霊南山ノ神線、②親和町湊広場線、③安徳新山線、④新山本町線の進捗状況は。

A 現在整備中の部分で、事業費ベースの進捗率は①約90%②約12%③約20%④約91%、完成を目指す年度は①令和5年度②11年度③8年度④4年度。

Q 霊南山ノ神線で、上の原三丁目、島原総合運動公園区間の状況は。

A 計画の予定が立っていない。

Q 親和町湊広場線で、①ひょうたん池公園入口交差点の信号機設置を早急に、②この路線は、島原病院から高規格道路へのアクセス道路となるなど重要な道路、整備を早急に。

A ①令和4年度中に整備予定。②非常に重要な道路と認識。なるべく早い時期に完成ができるように進めさせていきたい。

農業、畜産問題

Q 配合飼料価格安定制度の活用を。

A 配合飼料の価格の高騰による畜産経営の損失を緩和する支援策。

加入する畜産経営者や国等で積み立てた財源で、平均輸入原料価格が基準価格を上回った場合、その差額を補填金として畜産経営者に支払い、経営の安定を図るもの。大変有効な制度。

Q 畜産農家の戸数は。

A 畜種別で、乳用牛が15戸、肉用牛が50戸、養豚が11戸、採卵鶏が21戸、肉用鶏が3戸。

Q コロナ禍や穀物の輸入価格の高騰などで農家の経営は圧迫され、離農する農家も出る状況がある。何らかの対応をすべきでは。

A 国、県の支援策の動向を注視しながら畜産農家の支援策を検討している。

Q 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている野菜農家にも、コロナ対策の支援制度が何らかの形で対応できないのか。

A 事業復活支援金など、使えるのは積極的に活用していただきたい。